

諏訪之瀬島

概況

4月10日から14日にかけて火山活動が活発となりました。この期間、連続的な火山性微動が発生し、32回の爆発地震を観測するなど活発な噴火活動がありました。また、この期間に集落では降灰や爆発音および鳴動が確認されています。

噴煙活動の状況

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、4月10日から13日にかけて鳴動、爆発音、集落への降灰が確認されました。噴煙の最高高度は2日の700m(3月3日：700m)でした(図2)。図中、爆発地震を観測したときを「爆発的噴火」、有色噴煙もしくは集落への降灰が確認されたときを「噴火」とし、ともに「 」で示しました。

地震・微動活動の状況

4月のA型地震の回数は15回(3月12回)で、1日あたり0～3回(3月0～2回)でした(図3～図4)。また、B型地震の回数は42回(3月74回)で、1日あたり0～14回(3月0～19回)でした(図5～図6)。4月10日18時57分から14日05時20分にかけて連続的な火山性微動が発生し、32回の爆発地震(3月31回)を観測しました(図7～図9)。

現地観測（上空からの観測）

4月12日に鹿児島県の協力により上空からの観測を行い、火口の状況や山体の地形の観察を行いました。2000年12月にできた御岳北東側の火口は直径約200mとなり、灰白色の噴煙を上げ、2001年5月より若干拡大していました(写真1、図1)。



写真1 御岳北東側の火口と噴煙

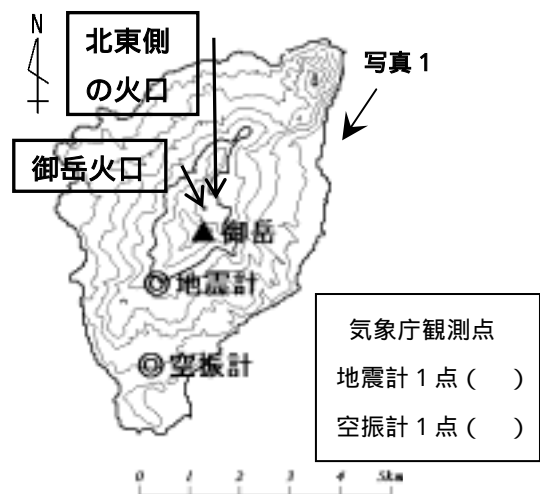


図1 気象庁観測点

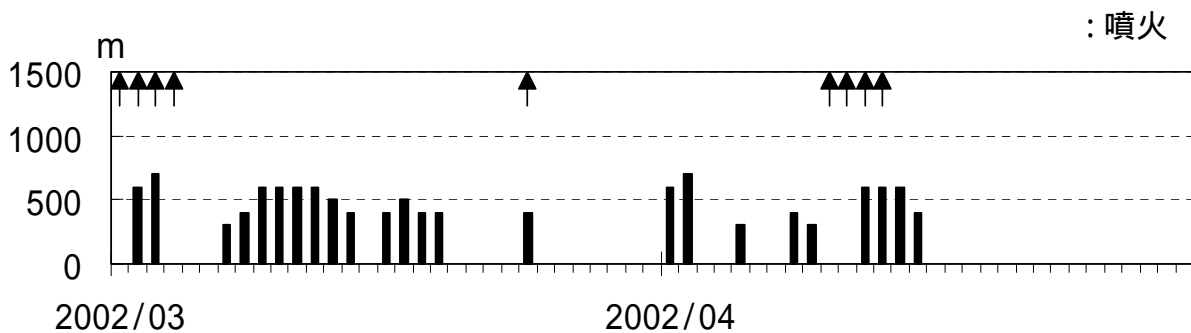


図2 日最高噴煙高度と噴火

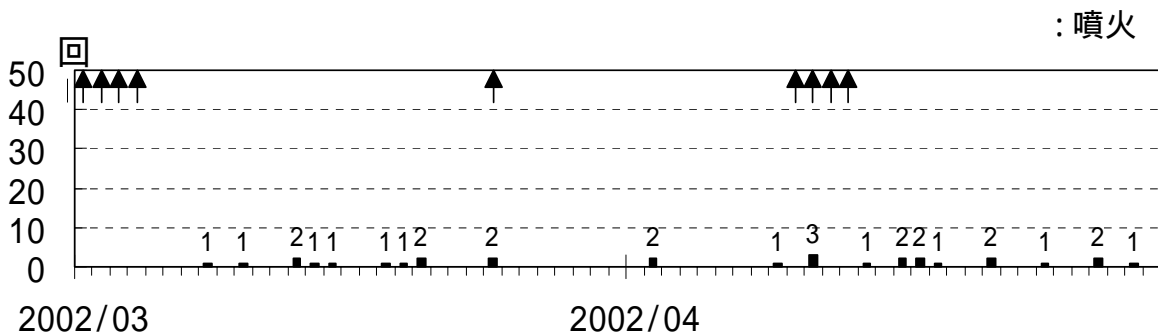


図3 A型地震の回数(2002年3月1日~4月30日)

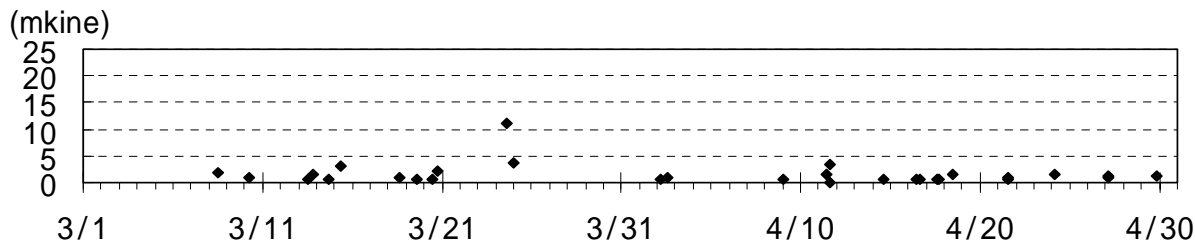


図4 A型地震の振幅(2002年3月1日~4月30日)

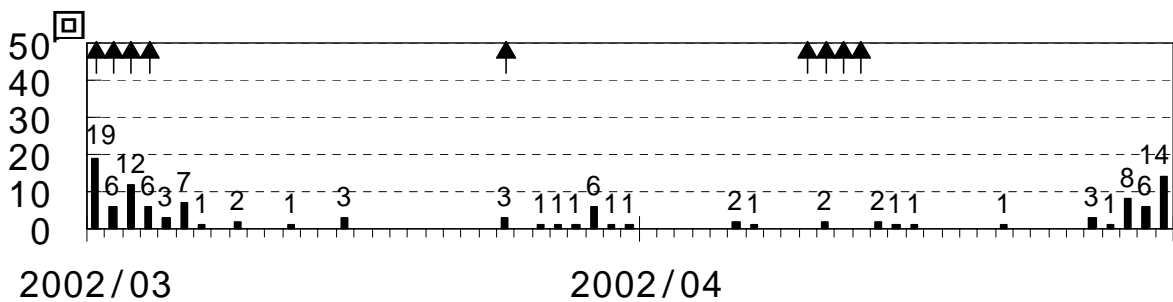


図5 B型地震の回数(2002年3月1日~4月30日)

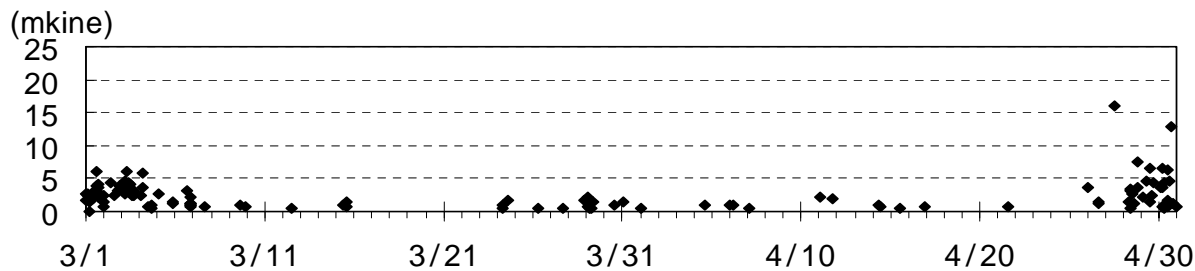


図6 B型地震の振幅(2002年3月1日~4月30日)

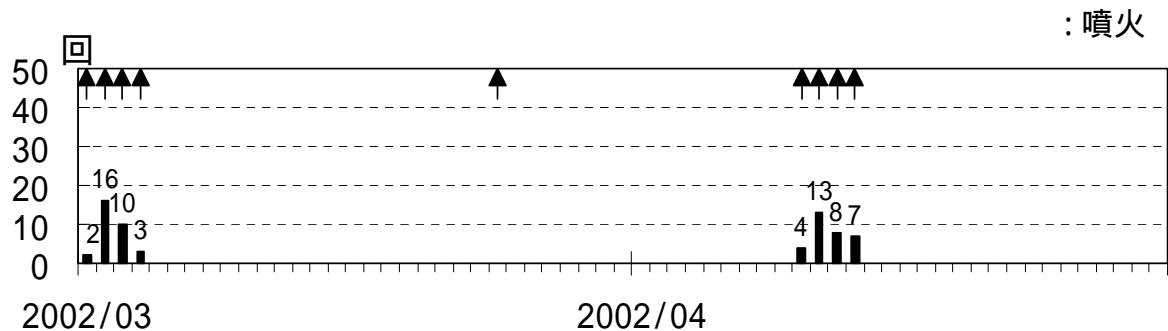


図7 爆発地震の回数(2002年3月1日~4月30日)

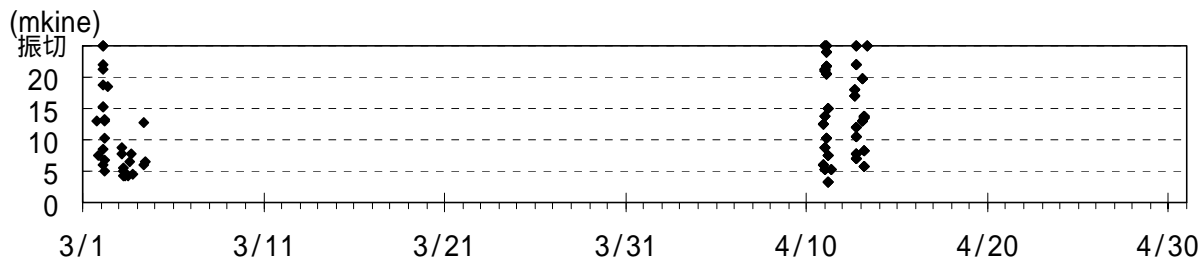


図8 爆発地震の振幅(2002年3月1日~4月30日)

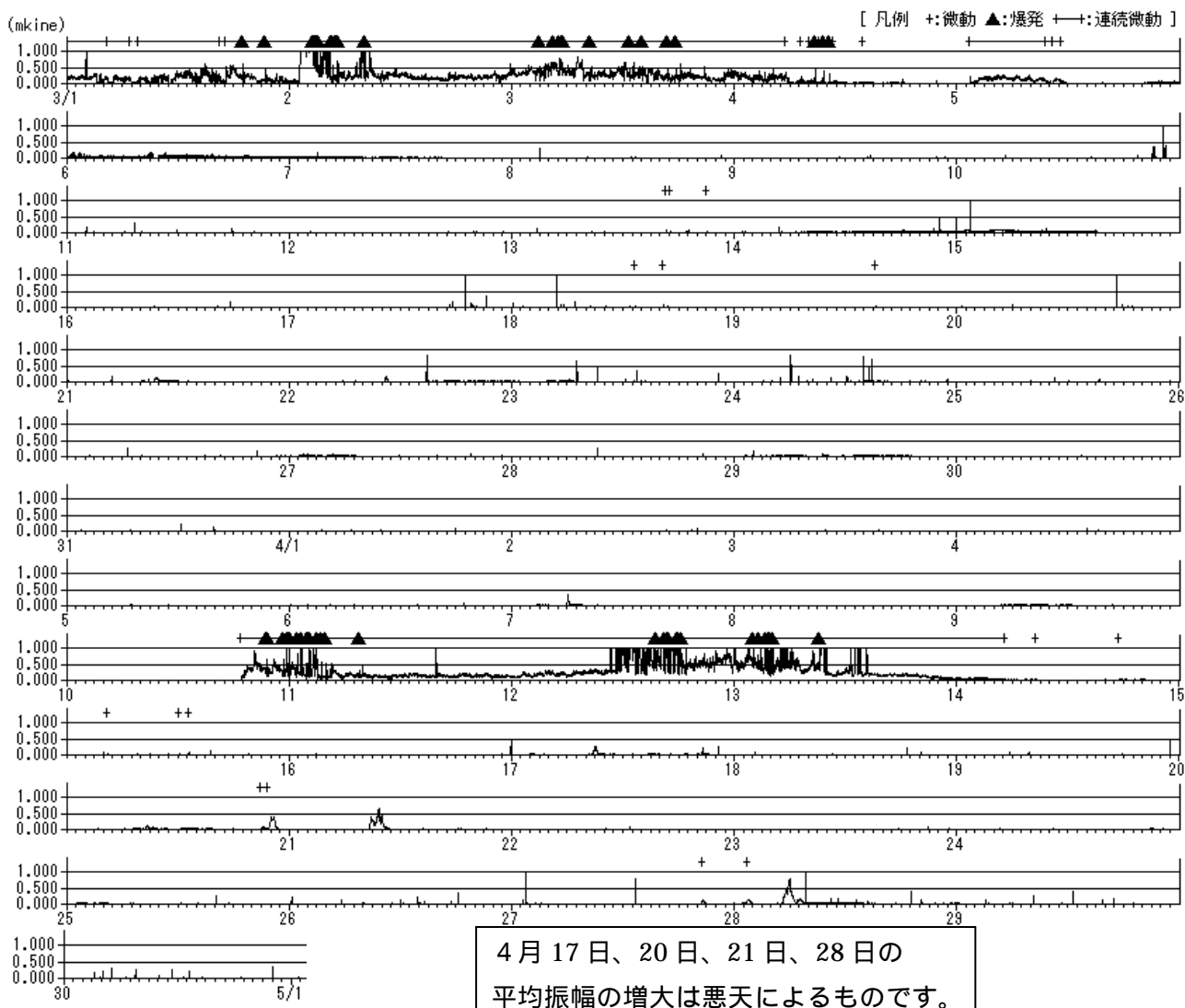


図9 地震計(上下動)の1分間平均振幅の時間変化(2002年3月1日~4月30日)